

令和 4 年度観光客動向調査について

1 目 的

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、旅行の「個別化」「多様化」が進展する中、より効果的な観光施策を検討していくため、南会津地域の観光客数、来訪者の属性（居住地、年齢、性別等）、観光のニーズ等を調査する。

※ 各調査を予算の範囲内で実施。

2 実施内容（案）

（1）各施設の利用者動向調査

- 各観光協会、各商工会、各施設に可能な範囲で協力を依頼する。
- ① 宿泊施設→利用人数、利用形態、居住地、年齢、利用プラン・パックなど。
- ② 物販施設→月別レジ通過人数、月別売上げトップ3など。
- ③ 観光施設→月別利用人数、団体、個人別（可能であれば居住地）など。

（2）観光施設での対面式アンケート調査

- 各町村から、入込の多い観光施設1～2箇所を選定し、令和4年7月～令和5年3月に調査を実施する。
- 居住地、年齢、性別、人数、訪問目的、訪問場所、来訪回数、観光消費額、南会津郡内の滞在時間（日数）、満足度、再訪意向等について、独自の調査票により調査する。
- 下郷町「大内宿」、檜枝岐村「道の駅尾瀬檜枝岐」、只見町「田子倉湖」、南会津町「道の駅たじま」等を想定。

（2）の対面式調査及び（1）、（2）の調査票の設計、配布、回収、集計、分析等を委託して実施することとし、委託業者は企画プロポーザルにより選定する。

（3）位置情報を活用した人流把握

- 携帯電話の位置情報を活用し、南会津地域内の周遊動態について把握する。
- 南会津地域の主要観光地における人流データ（来訪者の属性（居住地、年代、性別）、主要観光地の併用状況、来訪者の周遊ルート等）を分析する。